

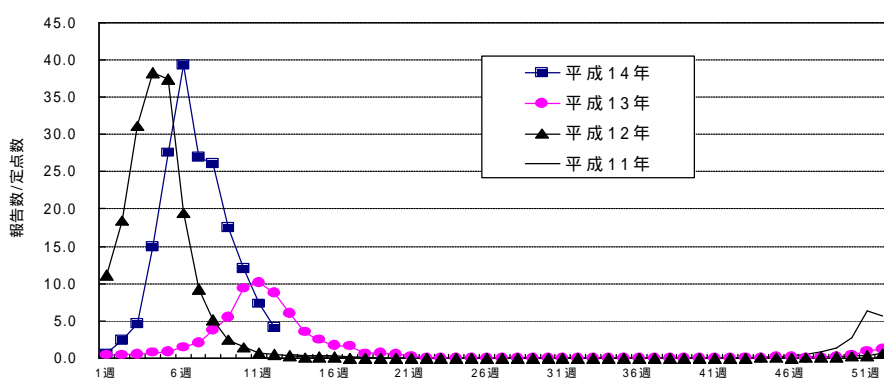
# 愛知県感染症情報

## 平成 14 年第 12 週（3 月第 3 週）

（コメント）

インフルエンザの流行は終息に向かっています。麻疹は引き続き流行中ですので注意してください。麻疹については、有効な予防接種がありますので詳しくは、愛知県衛生研究所のホームページ

（<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/>）をご覧ください。



インフルエンザ（名古屋を含む。平成 11 年は、13 週（4 月 1 日～）から）

（定点の先生方からのコメント）

- 尾張西部地区
  - ・ インフルエンザ 9 人 A 型 8 人、B 型 1 人。A 型 3 人はワクチン 2 回接種で罹患。  
（一宮市 あさのこどもクリニック）
  - ・ インフルエンザ 3 名 すべて A 型。麻疹 1 名（予防接種未接種）。  
ロタウィルスによる感染性胃腸炎 5 ヶ月男  
（一宮市 後藤小児科）
  - ・ O1 1 歳女、O6（6 歳男、29 歳女）、O18 2 歳男、O119 1 歳男、O124 2 歳女  
（尾西市 城後小児科）
  - ・ インフルエンザ A 3 例、B 3 例、急性胃腸炎多くなっています。特に熱が 2～3 日つづくものがみられます。また、アデノ様発熱数例あり。  
（岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック）
  - ・ 細菌性腸炎や食中毒らしいものも見られる様になりました。  
（犬山市 武内医院）

- ・ 感染性胃腸炎の流行が続いています。麻疹 2 名（2 歳、5 歳、ワクチン未接種児です）  
（江南市 みやぐちこどもクリニック）
- ・ 6 ヶ月女、1 歳 3 ヶ月女、1 歳 6 ヶ月男ロタウイルス（+）でした。  
（春日町 丹羽医院）
- 尾張東部地区
  - ・ A 型インフルエンザは、少しみられます。マイコプラズマ感染、溶連菌感染も相変わらずみられます。乳幼児のウイルス性胃腸炎はロタウイルス感染によるものです。  
（瀬戸市 津田こどもクリニック）
  - ・ インフルエンザの流行は終了したようです。マイコプラズマ感染症は全年齢層で流行持続。溶連菌感染症、水痘多くみられました。また、乳幼児下痢症もまだ比較的多くみられます。  
（尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院）
  - ・ セレウス菌腸炎 24 歳女。  
（豊明市 豊明団地診療所）
  - ・ ロタ（+）のウイルス性腸炎多い  
（美浜町 愛知県厚生農業協同組合連合会知多厚生病院）
  - ・ インフルエンザは終わりましたが、急性肺炎 2 名、4 歳女児、5 歳女児ありました。2 名とも CRP\* 6（+）でした。1 歳未満のロタウイルス（+）2 名ありました。  
（春日井市 かちがわ北病院）  
CRP\*：C 反応性蛋白試験
  - ・ インフルエンザまだ数多し。  
（小牧市 小牧市民病院）
  - ・ インフルエンザの減少傾向は続いています。  
（小牧市 志水こどもクリニック）
- 西三河地区
  - ・ RS ウイルス感染症 4 ヶ月男。病原性大腸菌 O1 1 歳男  
カンピロバクター腸炎と病原性大腸菌 O166 5 歳女  
インフルエンザ A・B クイック\*（A 型インフルエンザ）（2 歳女 2 名、1 歳男）  
（豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック）  
インフル A・B クイック\*：A 型及び B 型インフルエンザウイルスを検出する迅速診断キットの一種。
  - ・ おたふく流行。麻しん 10 ヶ月女  
（豊田市 医療法人やふそ小児科）

- ・ ロタウイルス 2歳女、7ヵ月男  
(岡崎市 医療法人深田小児科)
- ・ 病原性大腸菌 O1 VT (-) 8歳女、マイコプラズマ肺炎 6歳男  
(岡崎市 花田こどもクリニック)
- ・ 病原性大腸菌 O18 VT (-) 1歳男  
マイコプラズマ肺炎 4歳女  
(岡崎市 にいのみ小児科)
- ・ インフルエンザ A型 10名、B型 1名  
(岡崎市 医療法人川島小児科水野病院)
- ・ インフルエンザ患者は急に減りました。計6名全てB型で4~8歳の子どもばかりでした。  
(岡崎市 栗屋医院)
- ・ インフルエンザ A型 2名。今週から急に減少しました。  
(岡崎市 永坂医院)
- ・ 乳幼児の嘔吐下痢症が引き続き目立ちます。  
(碧南市 永井小児クリニック)
- ・ インフルエンザ B 10歳女、感染性胃腸炎(特に嘔吐)が増えてきました。  
(西尾市 やすい小児科)
- ・ インフルエンザ A型 3名。  
(三好町 三好町立三好病院)
- 東三河地区
  - ・ インフルエンザも終息しています。  
(豊橋市 こどもの国大谷小児科)

(1~3類感染症の発生状況)  
報告はありません。

(全数把握の4類感染症の発生状況)  
アメーバ赤痢患者1名。  
急性ウイルス性肝炎B型患者1名。

第10週(14年3月4日~3月10日)の4類感染症の全国状況  
インフルエンザは東北、北陸、信越地方と、岐阜県、広島県、長崎県で依然定点当たり報告数が多くなっている。とくに新潟県では、定点当たり報告数が51.9と大きな流行になっている。今シーズン

は遅めの流行となっているために、例年のこの時期と比べると定点当たり報告数がやや多くなっている。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数も、過去5年間の同時期と比較してやや多くなっており、山形県で定点当たり報告数5.2の報告がある。感染性胃腸炎は福井県（定点当たり報告数18.4）、大分県（18.2）などで報告が多くなっている。水痘は山口県で定点当たり4.2の報告がある。伝染性紅斑は例年の同時期より定点当たり報告数がやや多くなっている。流行性耳下腺炎は山形県（定点当たり6.9）、沖縄県（5.5）、富山県（4.2）などで定点当たり報告が多くなっている。

（Infectious Diseases Weekly Reportより抜粋

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供）







